

資料－１１ 計画条件図の作成

１） 計画条件図作成の目的と作業方針

① 跡地利用計画の策定に向けた予備的な情報整理

- ・ 「全体計画の中間取りまとめ」を経て、跡地利用計画の策定に向けた検討を進める過程では、跡地の特性や周辺市街地の現況にかかるより詳細な情報収集を行い、計画条件図を整備する必要がある。
- ・ 本調査においては、跡地利用計画の策定に向けた情報収集の第一歩として、計画条件図のもとになる既存資料の所在等について情報整理を行う。
- ・ 今後、計画づくりの段階に応じて、計画づくりに必要となる新たな情報を収集するために、既存資料の検索や新規資料の作成に取り組む必要がある。

② 「土地利用・環境づくり方針案」の取りまとめ

- ・ 「土地利用・環境づくり方針案」の取りまとめにあたっては、跡地の特性や周辺市街地の現況を把握した上で、方針案づくりの手がかりとなる考え方を構築していく必要がある。
- ・ とくに、都市空間構成にかかる計画方針の検討にあたっては、跡地の特性や周辺市街地の現況を地図上に表した計画条件図をもとに、都市空間構成にかかる考え方を模索する必要がある。
- ・ 本調査においては、跡地の地形を活用した土地利用や環境づくり、周辺市街地との連携による跡地利用等に着目して、既存資料の組み合わせや加工・編集による計画条件図を作成し、計画づくりの手がかりとなるアイデアを模索、検証するとともに、計画条件図に関係者が共有することにより、「方針案」にもとづく意見交換を促進することを目的とする。

２） 既存資料の収集

① 情報収集の対象

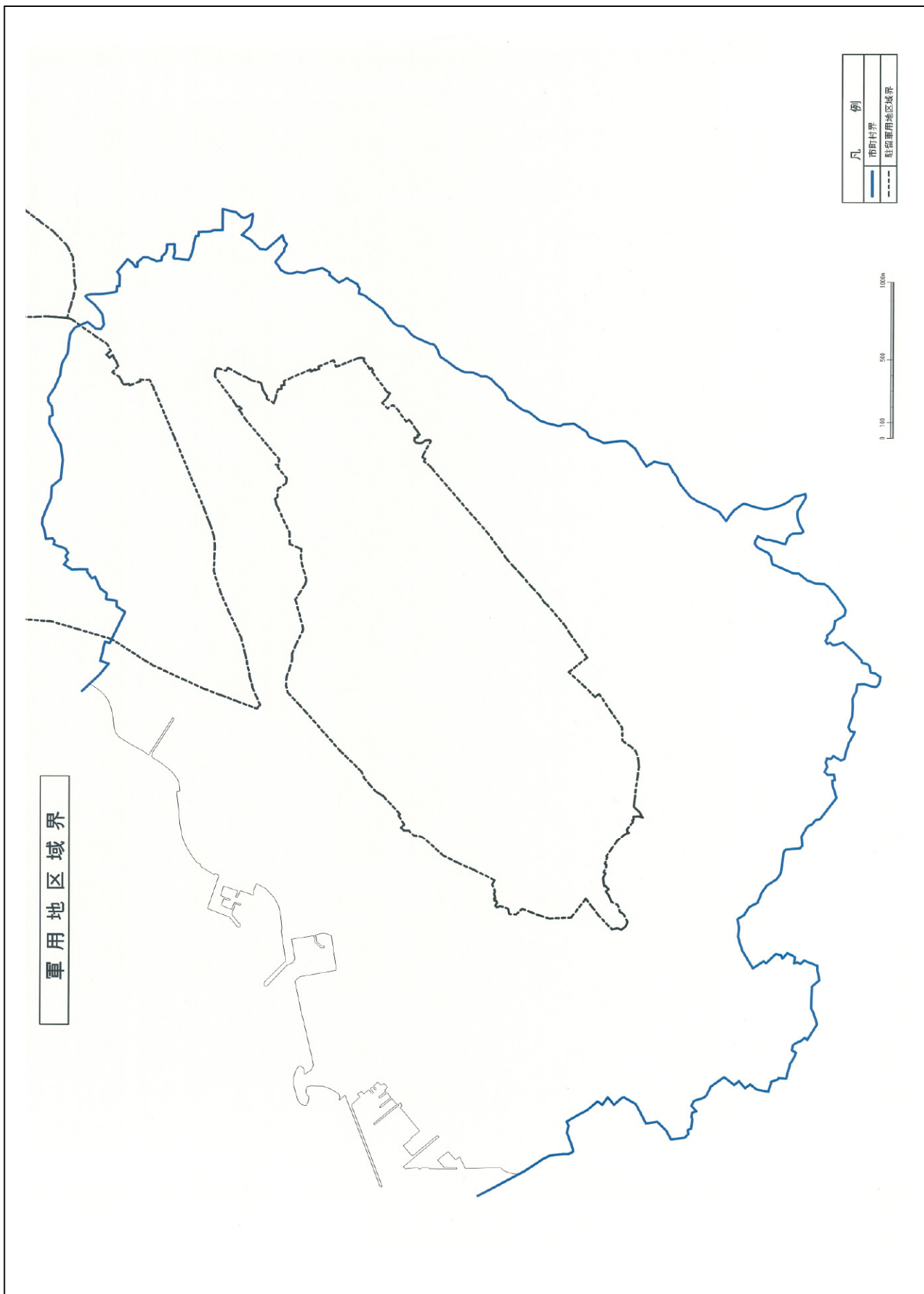
- ・ 基礎的な資料として、宜野湾市地形図（最新、接收前）、空中写真（最新、接收前）、宜野湾市都市計画図を収集する。
- ・ 植生、文化財、流域・地盤・地下構造、地形分類については、普天間飛行場跡地利用関連調査の成果等を収集する。
- ・ 普天間飛行場区域界は宜野湾市都市計画図にもとづきデータを作成する。
- ・ 各種施設立地現況、字界・小字界は宜野湾市地形図等にもとづきデータを作成する。

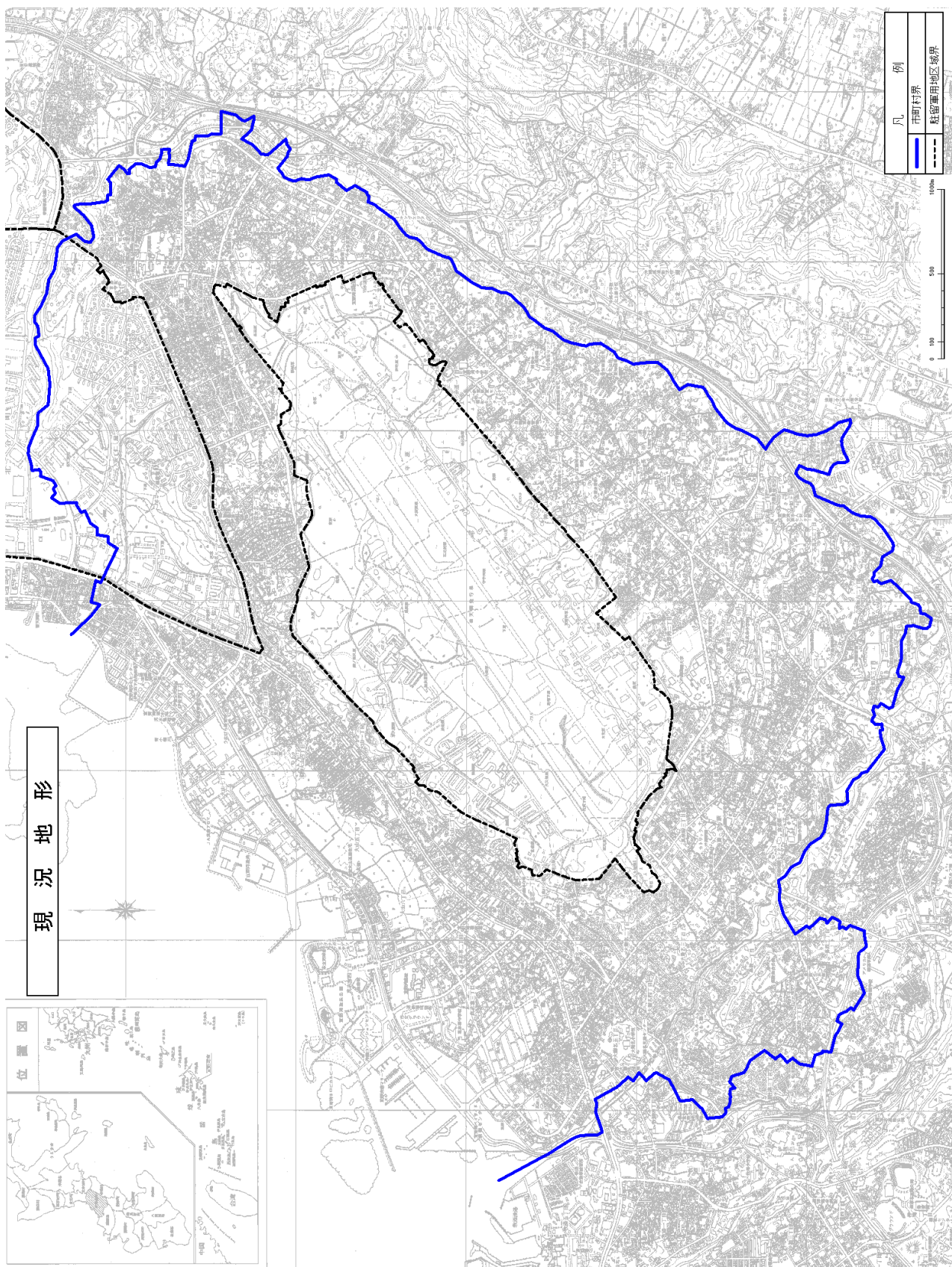
② データ作成の対象区域

- ・ 跡地及び周辺地域を含む主として宜野湾市の区域（東西７km、南北７km程度）について、対象別にデータを作成する。

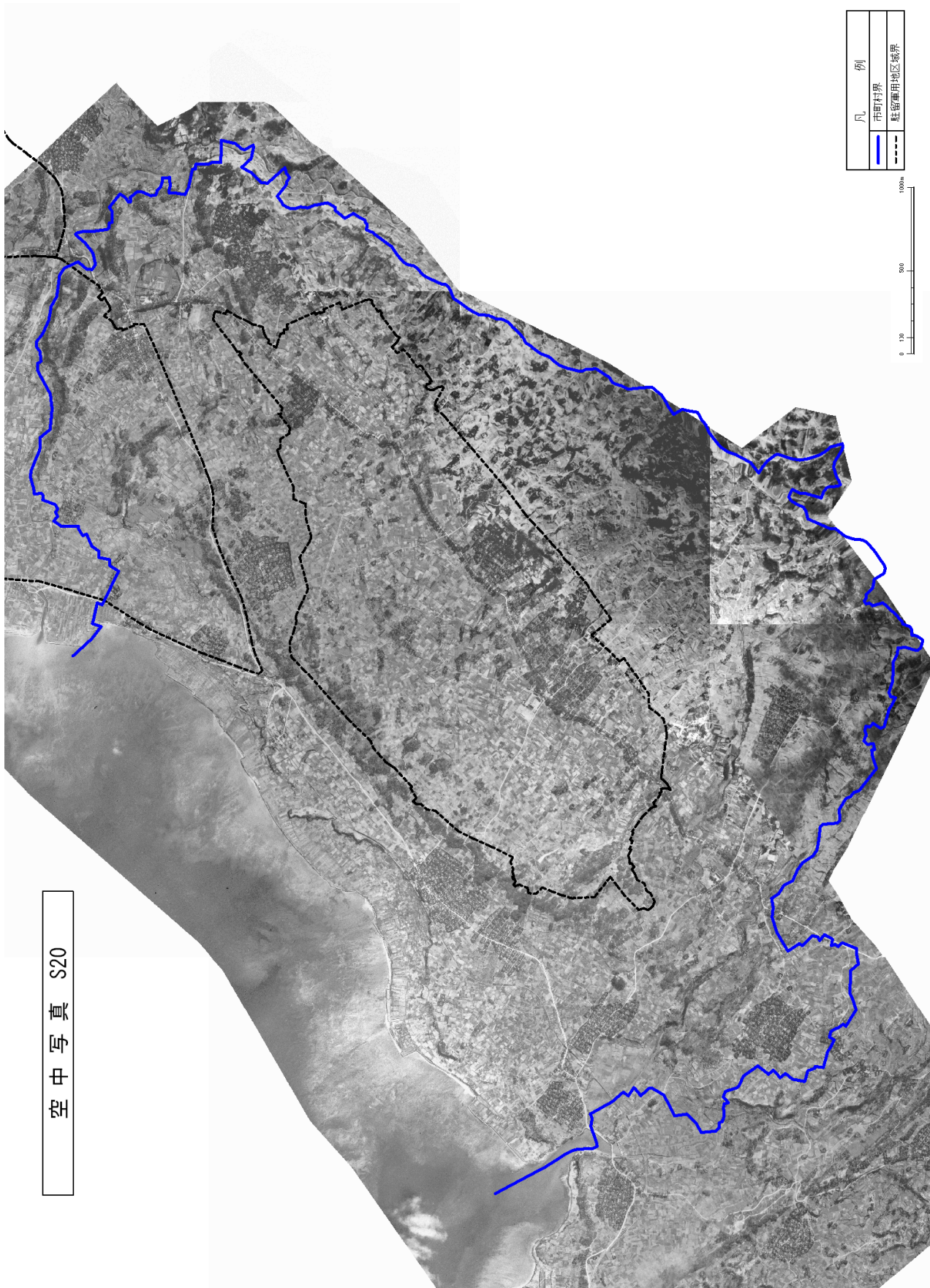
既存資料の一覧

	対象とする分野	既存資料		
		資料及びデータ名称等	形式	入手先
1	軍用地区域界	宜野湾市都市計画図（H20.3）により作成	CAD	同上
2	現況地形	宜野湾市地形図 H20.3	TIF	宜野湾市基地跡地対策課
3	空中写真（S20）	昭和20年1・2月空中写真 S20.1・2	JPEG	宜野湾市文化課
4	空中写真（H10）	平成10年空中写真 H10.12	TIF	同上
5	旧地形（T8）	大正8年地形図 T8	CAD	同上
6	旧地形（S20）	昭和20年基盤地図 S20.1・2	CAD	同上
7	植生分布	「自然に抱かれ、恵み豊かな宜野湾市をめざして」パンフレット図 H18.3 面データ	CAD	宜野湾市基地跡地対策課
8	流域・地盤・地下構造	同上	CAD	同上
9	各種施設立地現況	宜野湾市地形図（H20.3）により読取	CAD	
10	文化財分布	平成13年文化財分布図 H14.3	CAD	宜野湾市文化課
11	埋蔵文化財分布	平成13年埋蔵文化財分布図 H14.3	CAD	同上
12	大字界・小字界	宜野湾市地形図（H20.3）により作成	CAD	
13	地形分類	昭和23年地形分類図	CAD	宜野湾市文化課
14	都市計画	宜野湾市地形図（H20.3）より作成	CAD	
15	等高線	平成12年地形図	CAD	宜野湾市文化課

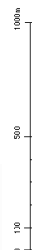




空中写真 S20



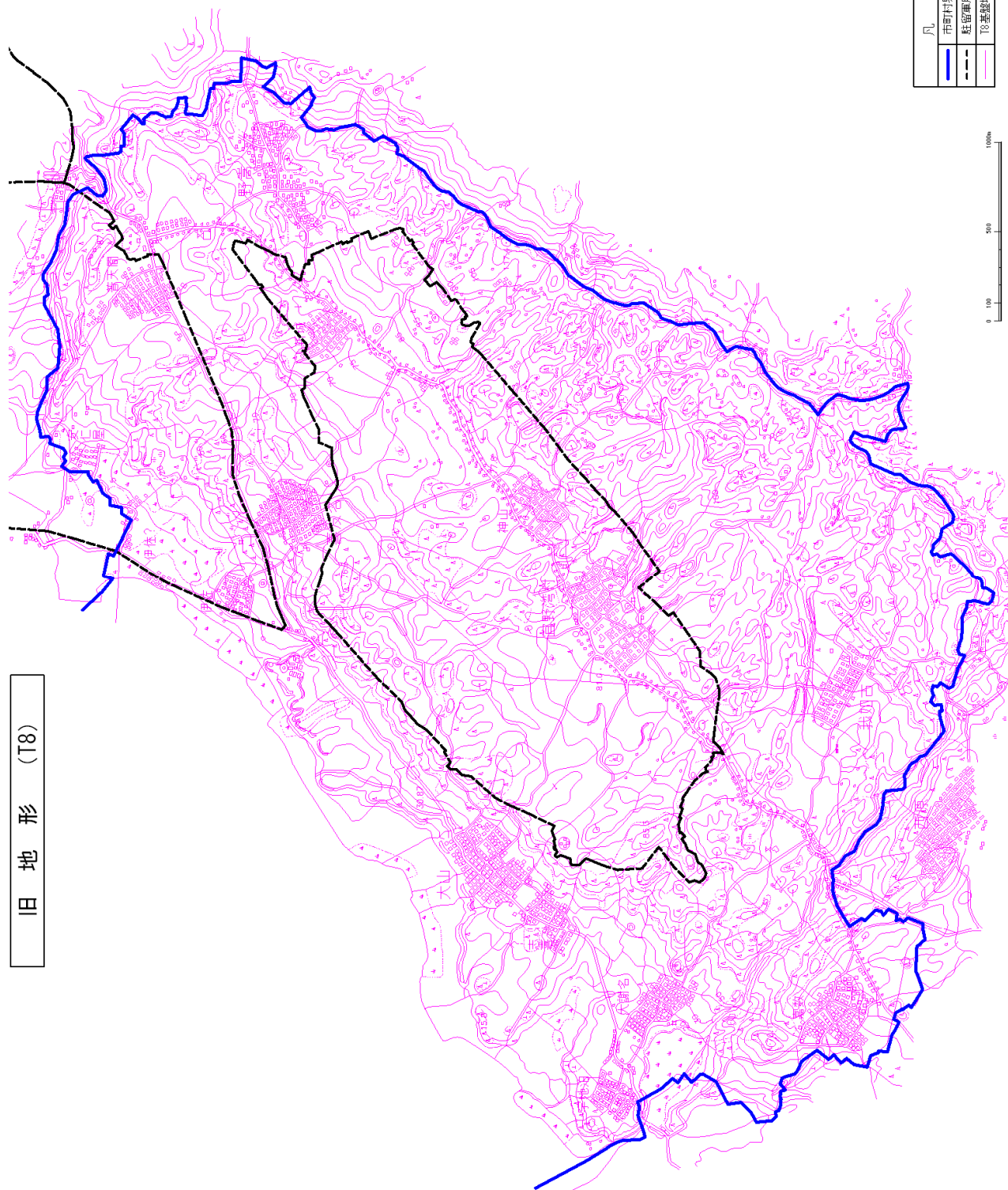
凡 例	
	市町村界
	駐留軍用地区域界



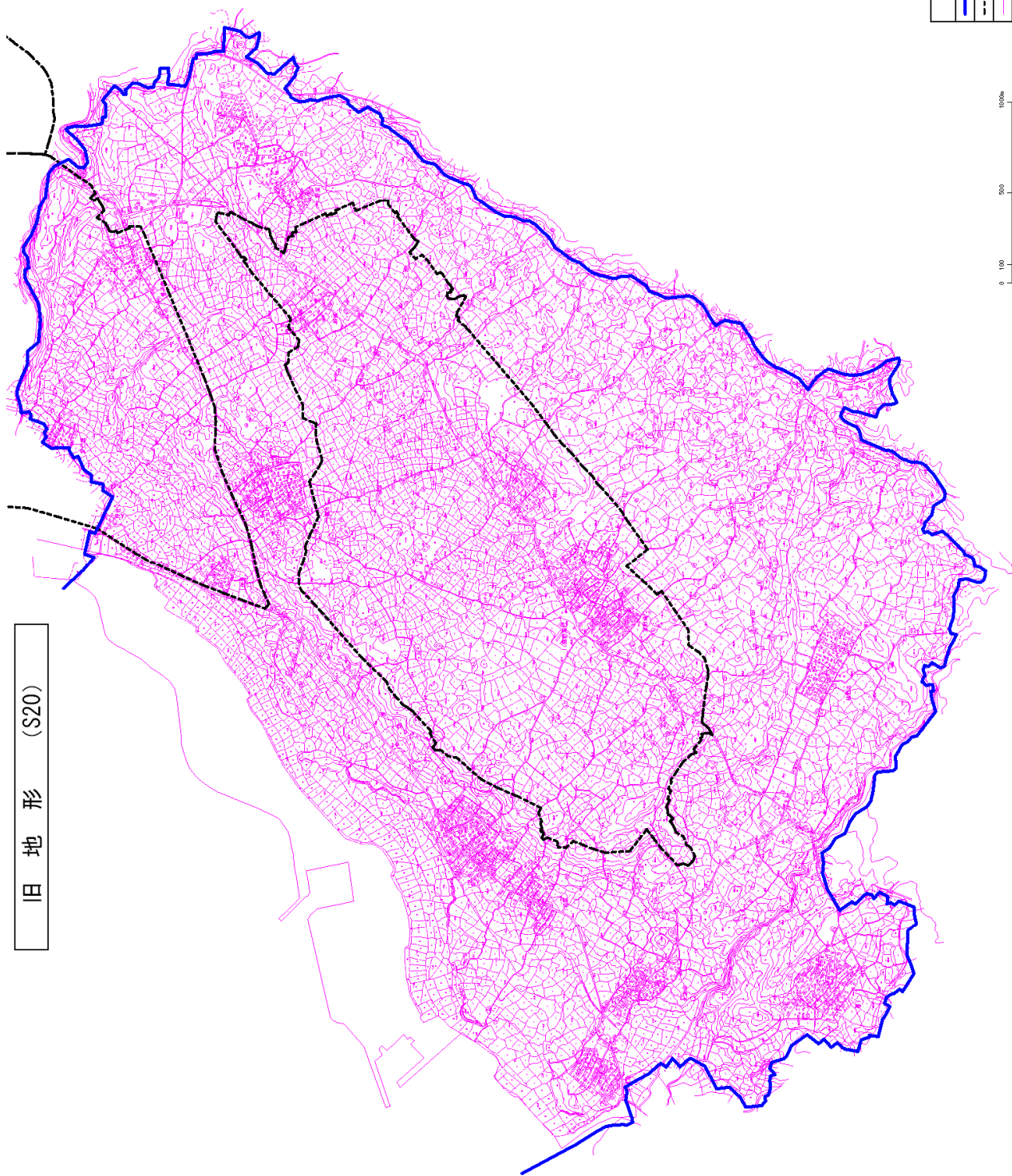
空中写真 (H10)



旧地形 (T8)



旧地形 (S20)



凡 例	
	市町村界
	町界
	S20地形図

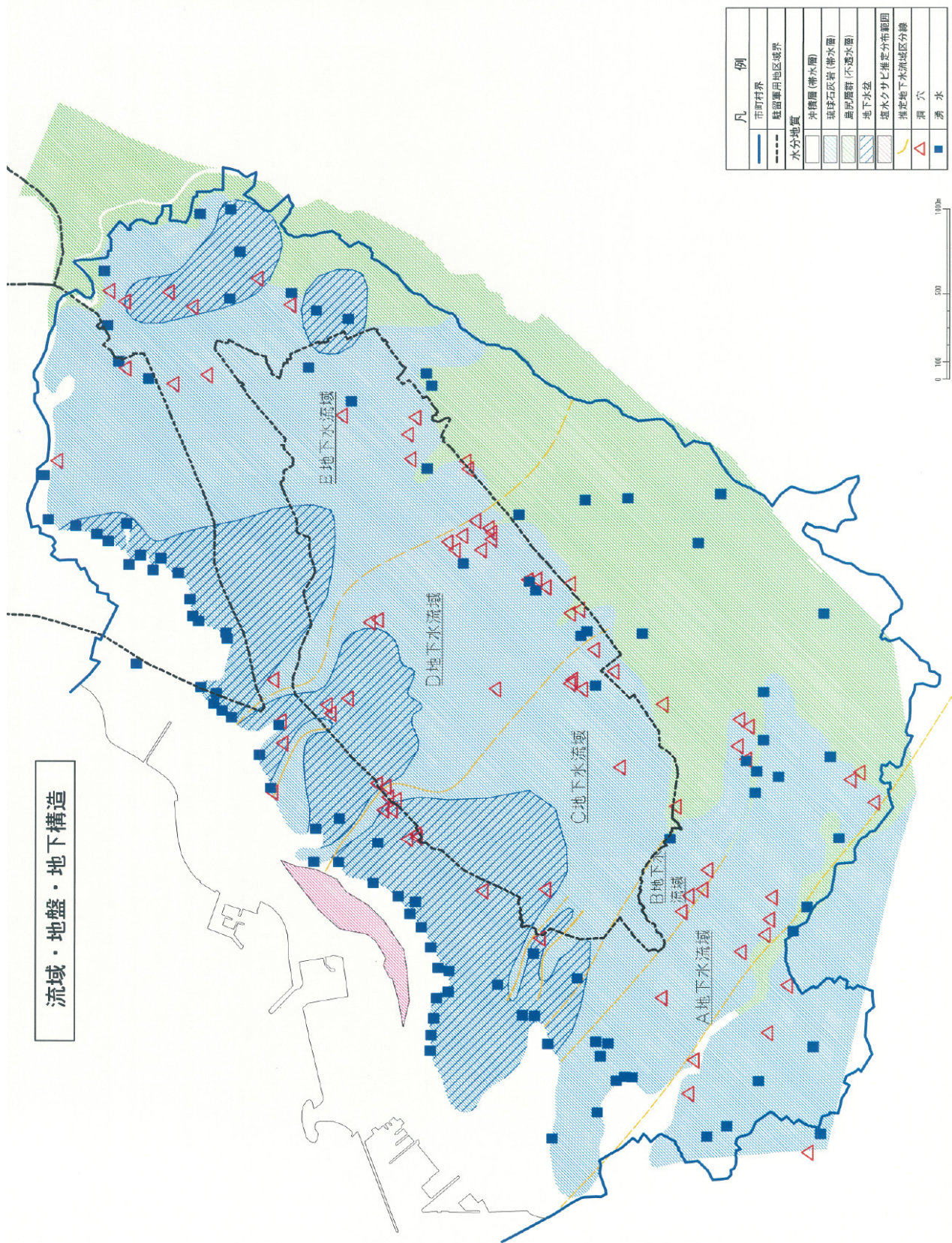


植生分布

凡 例	
—	市町村界
- - -	駐留専用地区境界
	注目される動物・植生分布
■	樹 林
■	耕作地
■	湿地植生
■	海岸植生

0 100 500 1000m

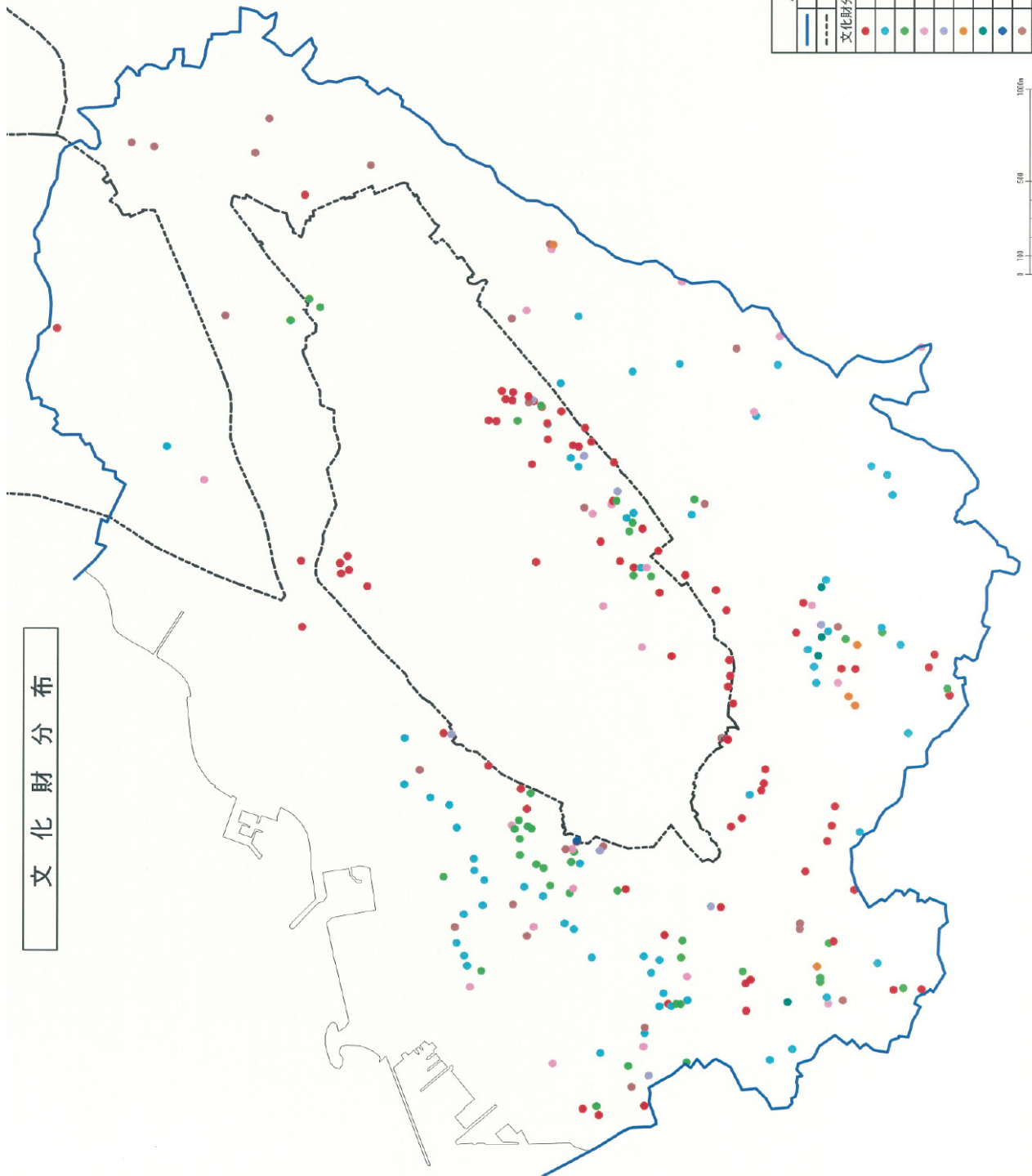
流域・地盤・地下構造



凡 例	
	市町村界
	駐留軍用地区域界
公共施設	
	教育関連施設
	文化・スポーツ関連施設
	その他の公共施設



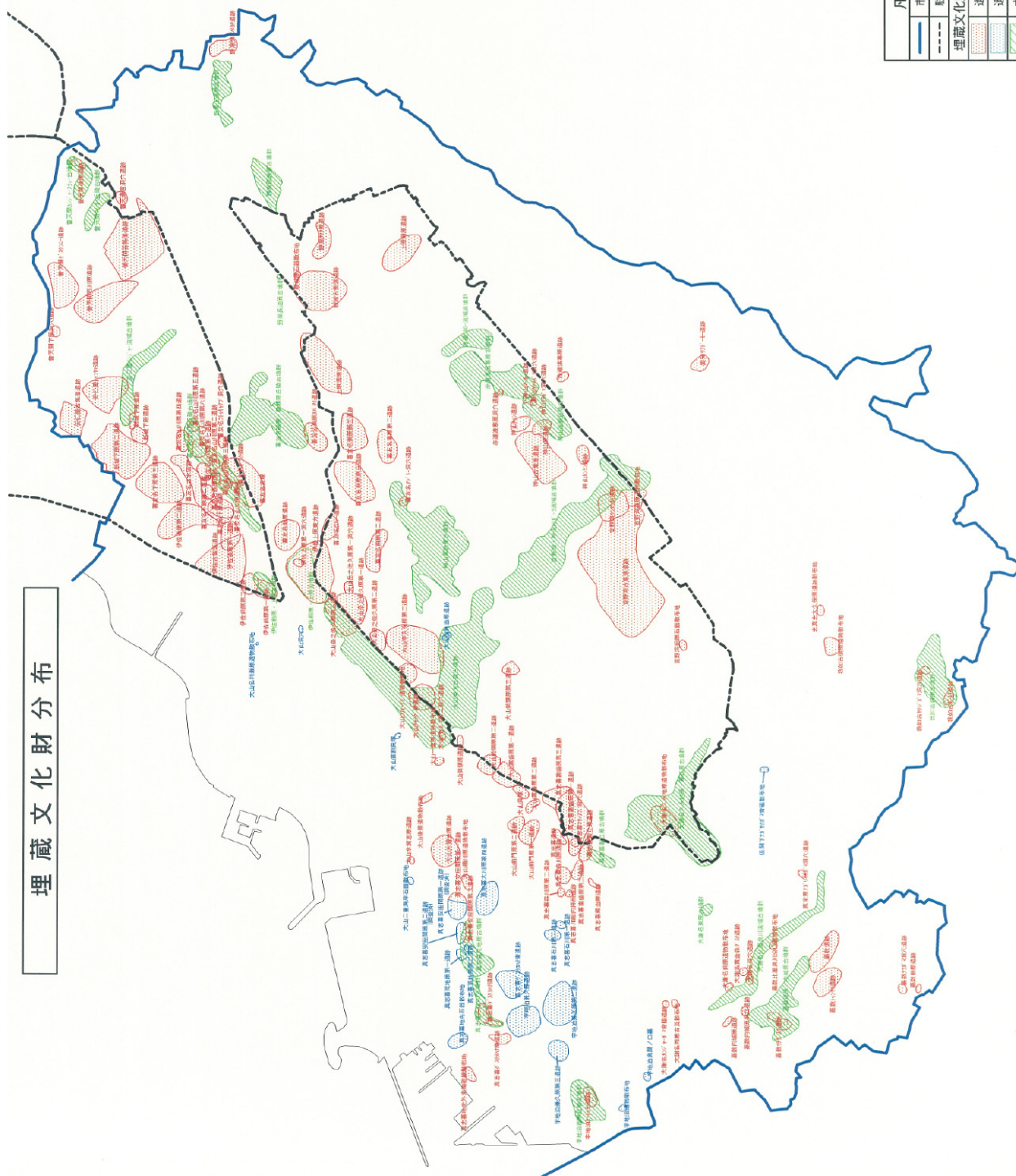
文化財分布



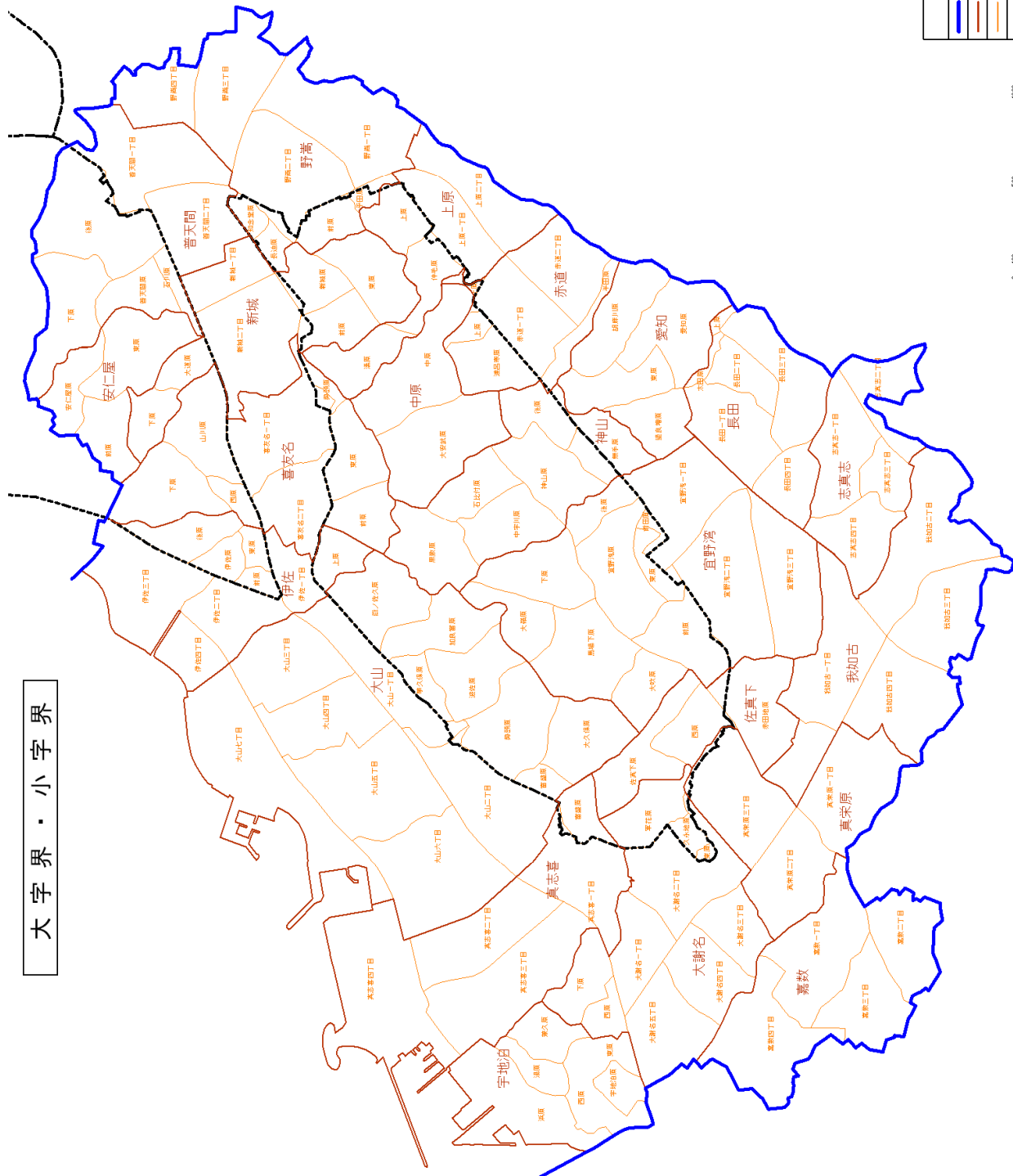
凡 例	
 	市町村界
 	指定活用地区境界
文化財分布	
●	2 洞穴
●	3 湧泉・井戸
●	4 坪所
●	5 石礎・印籠土手石
●	6 古墓
●	7 石獅子
●	8 機礎・石能通
●	9 天然記念物
●	10 その他

埋藏文化財分布

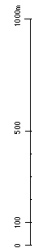
凡	例
	市町村界
	駐留軍用地境界
	埋藏文化財分布
	遺跡(現存)
	遺跡(消滅)
	古墳群



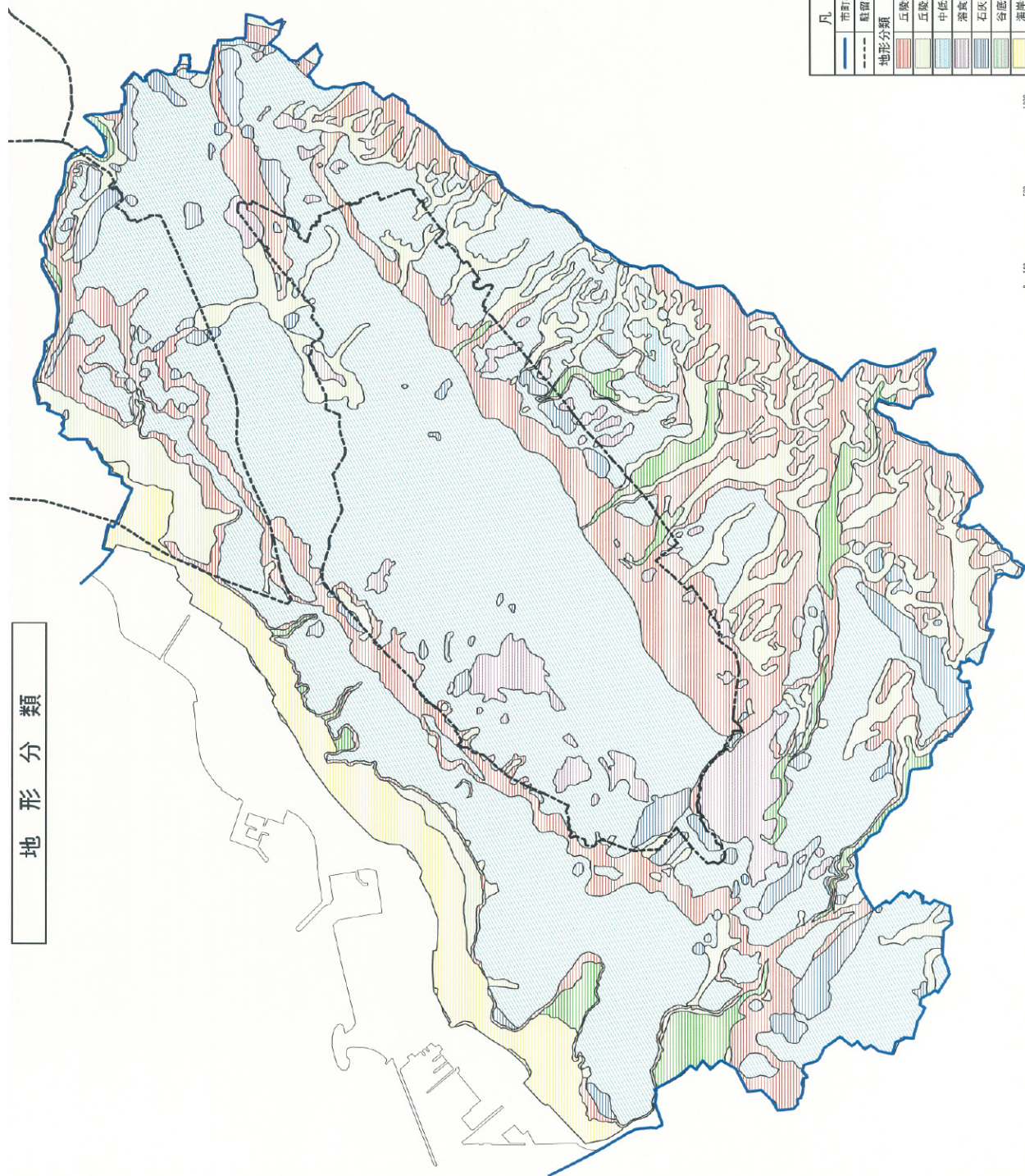
大字界・小字界



凡 例	
市町村界	市町村界
字 界	字 界
小字界	小字界
駐留軍用地区境界	駐留軍用地区境界

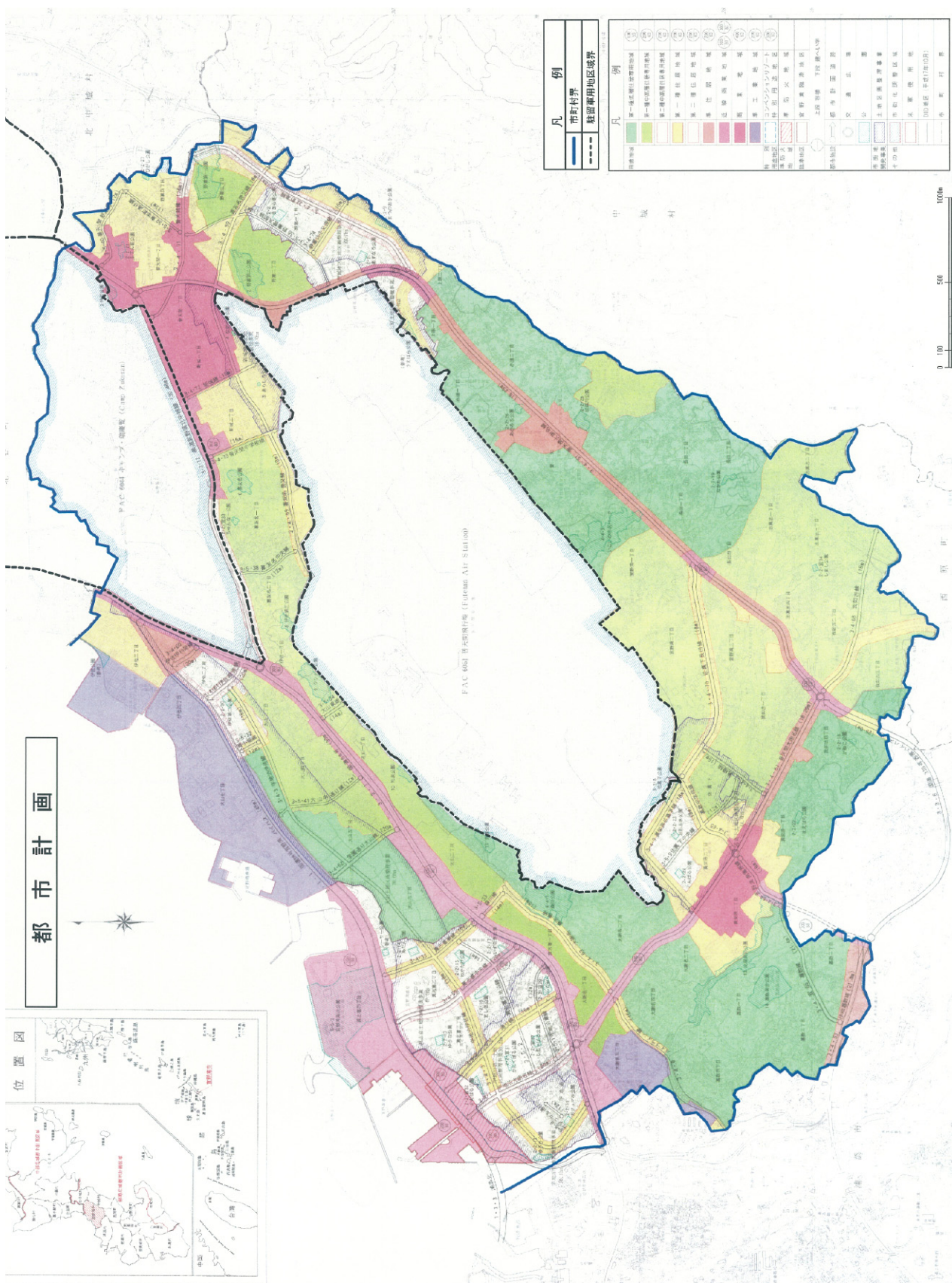


地形分類

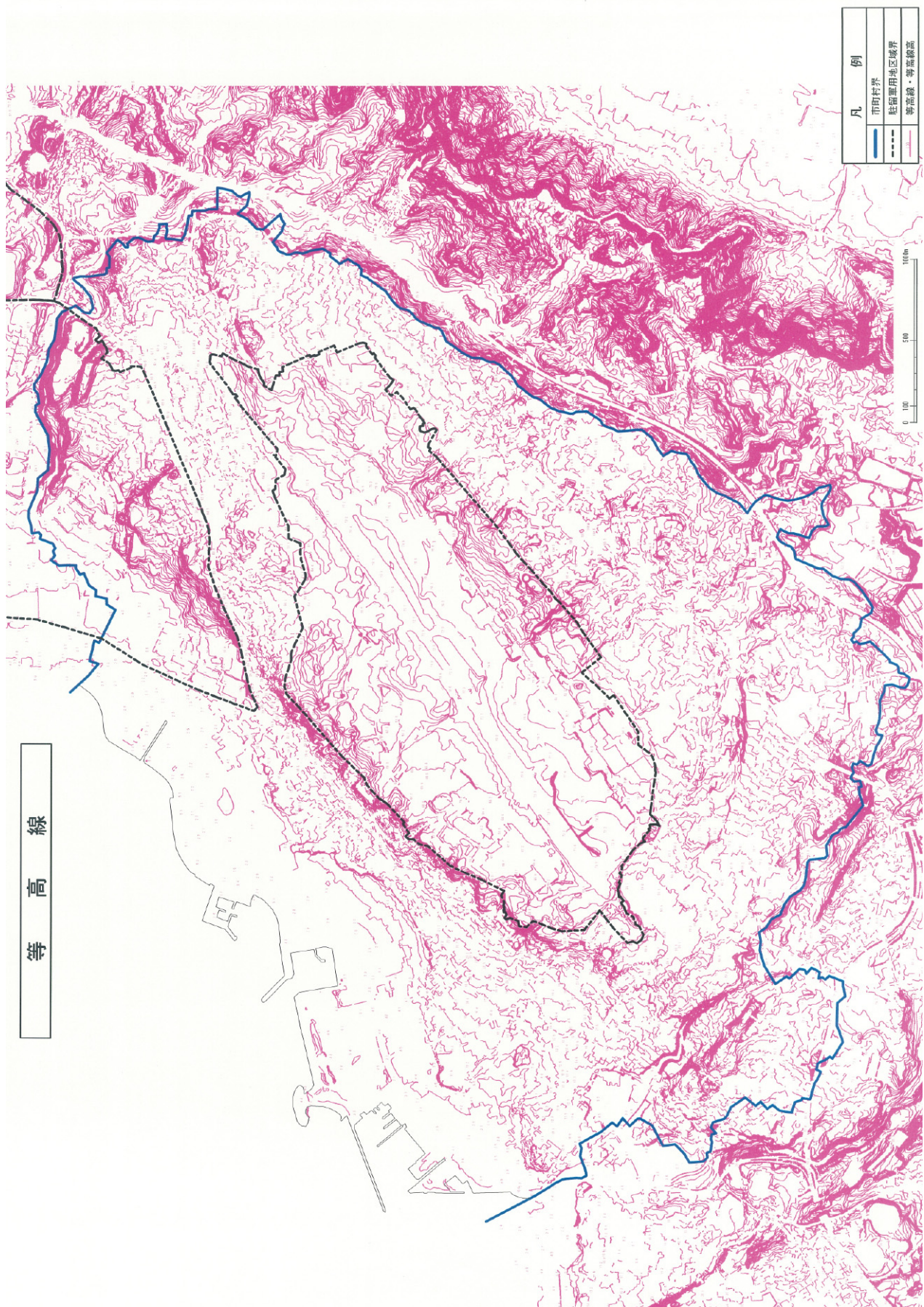


凡	例
——	市町村界
-----	郡留市地区境界
地形分類	
丘陵斜面	
丘陵上を刻む谷	
中低位段丘	
沖積凹地	
石灰岩丘	
谷底低地	
海岸低地・海浜	

0 100 200 300 400 500 600 700 800 900 1000



等高線



凡例	
	市町村界
	駐在所界
	等高線・等高距

3)「土地利用・環境づくり方針案」のための計画条件図

① 現況及び既定計画

- ・ 跡地及び周辺市街地の現況と既定計画を図示したものであり、計画づくりの基礎的な計画条件として活用する。
- ・ 宜野湾市地形図（平成20年3月）、軍用地区域界図、大字・小字界図、既定都市計画図で構成する。

② 旧集落及び並松街道

- ・ 旧集落及び並松街道の位置を図示したものであり、歴史的資源の再生に向けた土地利用誘導の計画条件等として活用する。
- ・ 昭和20年基盤地図（跡地内）、平成20年宜野湾市地形図（跡地外）、軍用地区域界図、大字・小字界図で構成する。

③ 地形の特性

- ・ 跡地及び周辺市街地の地形区分を図示したものであり、跡地西側におけるオーシャンビューを活用した土地利用誘導の計画条件等として活用する。
- ・ 等高線、地形分類図により高さ関係の概略を表現する。

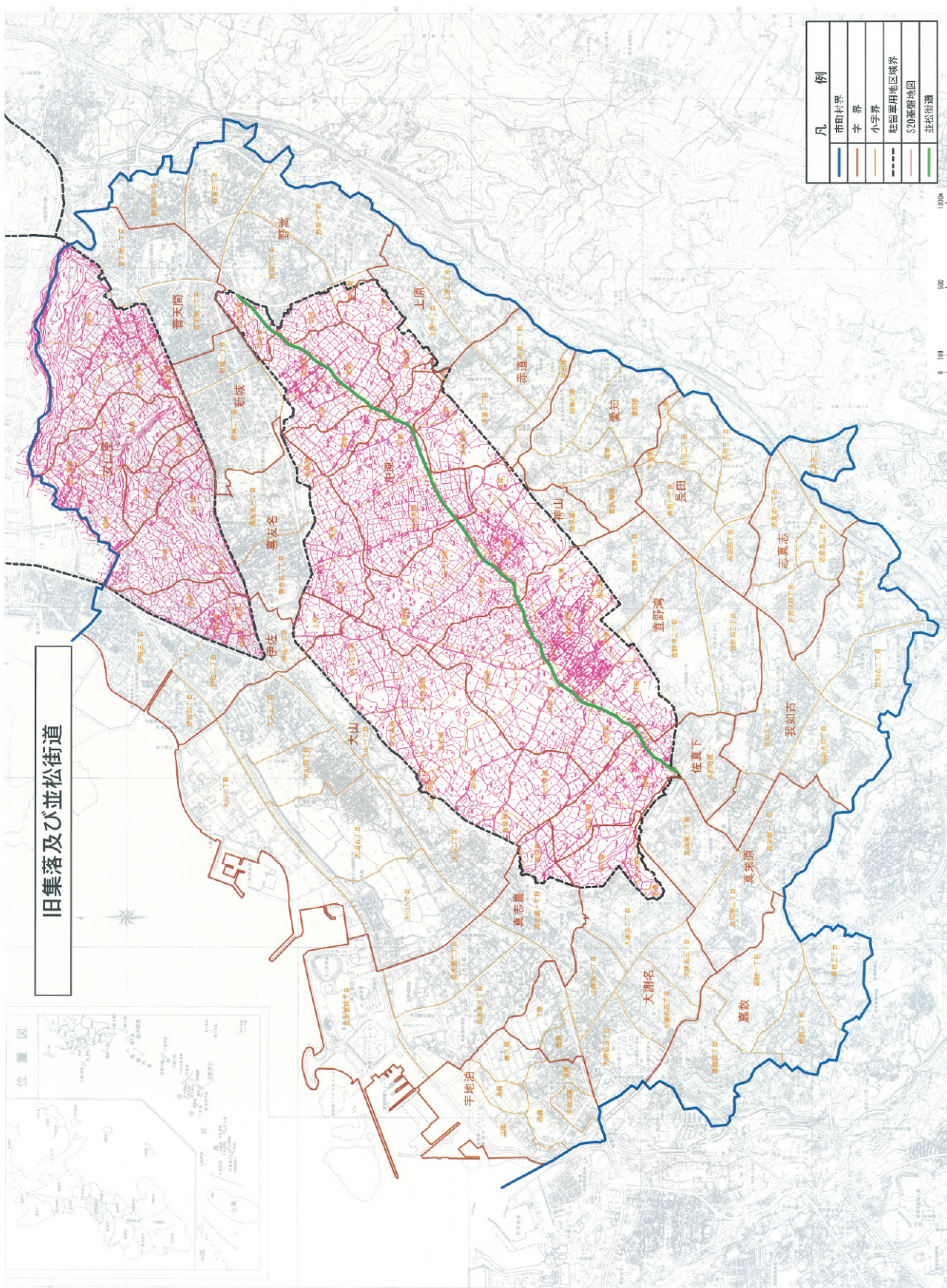
④ 植生の分布

- ・ 跡地及び周辺市街地における注目すべき植生を図示したものであり、跡地における環境づくりの方針について検討を行なう計画条件等として活用する。
- ・ 宜野湾市地形図（平成20年3月）、軍用地区域界図、植生分布図で構成する。

⑤ 主要施設の立地

- ・ 周辺市街地における大学、コンベンション施設、跡地の近傍に立地する小・中学校等の位置を図示したものであり、周辺市街地との連携に着目した土地利用誘導の計画条件等として活用する。
- ・ 宜野湾市地形図（平成20年3月）、軍用地区域界図、大字・小字界図、各種施設立地図で構成する。

なお、地盤・地下構造、埋蔵文化財については、「方針案」に反映すべき分野別の計画方針が未定であるため、計画条件図は作成していない。



地形の特性

